

TOKYO MX が戦後 70 年を考える4番組を放送

8/15(土)放送「TOKYO MX NEWS終戦特番」/「淳と隆の週刊リテラシーSP」
/ドラマ「えにしの記憶～終戦七十年 未来から特攻隊へ～」

8/30(日)から4週放送「西部邁ゼミナール 戦後七十年特別企画」

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(TOKYO MX)8月の終戦特番として、戦後70年を考える特別企画を4番組で展開します。

終戦記念日の8月15日(土)には、TOKYO MX1で14:00～14:30「TOKYO MX NEWS終戦特番～戦後70年、伝えたい記憶～」、17:00～18:10「淳と隆の週刊リテラシー～戦後70年『靖国』を本気で考えるスペシャル～」。TOKYO MX2で21:00～22:00ドラマ「平和祈念特番 えにしの記憶～終戦七十年 未来から特攻隊へ～」を放送します。

さらに、「西部邁ゼミナール」では、8月30日から4週連続で「吾等七十歳、戦後七十年をいかに見る」というタイトルで特別企画を放送します。

「TOKYO MX NEWS終戦特番～戦後70年、伝えたい記憶～」

2015年8月15日(土) 14:00～14:30 (TOKYO MX1)

「東京大空襲を忘れない」・・・70年経った今でも被害の全容が把握できていない「東京大空襲」。番組では、14歳で空襲を経験し、戦争で家族4人を失った大竹さん取材。彼は、「東京大空襲とは何だったのか」を伝えるために空襲経験者の証言を集めている人物。大竹さんの活動を中心に、戦争のありのままを見つめる。



「戦争に翻弄された少女・雅子」・・・東京大空襲を経験した5カ月後に奇しくも父の転勤で引越した長崎で被爆した、柳川さん取材。彼女は「白血球減少症」を発症したため、福岡市の病院に入院した。その療養中に自身の体験を書き記したのが、GHQの発行禁止処分を受けながらも1949年に出版された「雅子嬢(たお)れず」である。いまでは「原爆文学の原点」と称される文献となった。そして、雅子さんは依頼があれば当時の体験の講演を続けている。彼女は何を思い、何を訴えるのか。

「淳と隆の週刊リテラシー～戦後70年『靖国』を本気で考えるスペシャル～」

2015年8月15日(土) 17:00～18:10 (TOKYO MX1) ※既報

「戦後70年」という節目の年を迎え、先の大戦を直接知る人たちの高齢化は進み、戦争を知らない世代が多数となっている。また、戦後を語る上で避けて通れない「靖国神社」。この節目の年に、戦争を経験した世代と戦争を経験していない世代が、改めて「戦後70年と靖国神社」についてを討論する。新宿スタジオアルタから公開生放送。

出演者：田村淳(司会)、阿部哲子(アシスタント)、上杉隆、鈴木奈々(コメンテーター)

ゲスト(予定)：田久保忠衛、田原総一郎、東條英利、吉木誉絵 他



「平和祈念特番 えにしの記憶～終戦七十年 未来から特攻隊へ～」

2015年8月15日(土)21:00～22:00(TOKYO MX2)

(再):8月23日(日)20:00～21:00(TOKYO MX2)

東京に残る史跡、古道、歴史上の人物の謎を劇団員達が役作りと共に解き明かして行くドキュメンタリードラマ(2014年10月～3月放送)の終戦70年特別番組として企画した。終戦70年の今年、劇団スターカーニバルの次の公演は第二次世界大戦の特攻隊を題材にしたものに決まった。座長から脚本を任せられた博は、執筆のため、尚樹と翔太と一緒に第二次世界大戦を学んでゆく。その過程で彼らは、戦争について様々なことを知り、気が付くことになる。そして、出来上がった台本は、過去と未来とを繋ぐ奇跡の物語だった。



「西部邁ゼミナール 吾等七十歳、戦後七十年をいかに見る」

2015年8月30日(日)9月6日(日)13日(日)20日(日)

毎週日曜9:30～10:00 (TOKYO MX1)

翌週土曜9:00～9:30(TOKYO MX2)にて再放送

昭和20年(1945年)あの東亜戦争において日本がアメリカに大敗した年にこの世に生を享けて今年で70歳を迎えたゲストを招いて戦後を顧みながら、ユーモア交え真剣に論じます。黒鉄ヒロシ(漫画家)×辻原登(小説家)×佐高信(評論家)の三人が戦後をいかにみるか、司会の西部邁氏がその人格を浮き彫りにしながら議論を展開し、「戦後日本社会におけるアメリカニズムの広がり」「戦後における進歩主義の思潮の弊害」等の論点で、混沌と戦争の21世紀状況へ向けて、戦後日本の問題点を深く穿つ30分!



本件に関するお問い合わせ
TOKYO MX 編成局 編成部